

2020 年度明建会賞

今年の受賞者と受賞業績はつぎのとおりです。おめでとうございます。

田口 諒さん 『コロナ禍にある「生田の商店街」支援活動』

受賞理由

田口諒君は、大学院在籍中に二泊三日の「復興まちづくりキャンプ 2019」に参加し、震災は人ごとではないと実感し、学生と地域の関わりを生み出そうと、研究室の後輩たちに声をかけ、自らの研究とは別に「生田の商店街」などの現地調査を 2020 年 1 月から始めた。

そうした最中、コロナ禍が発生し、自分たちですぐにできることは何かを考え、現地調査を通して知り合った生田中央商店会と連携し、緊急事態宣言で店頭販売を余儀なくされた飲食店を調査し、「IKUTABLE (イクタベル)」と題して、SNS (Instagram、Twitter、Facebook) でテイクアウト情報を中心に発信するプロジェクトを開始した。さらに建築設計を通して習得したプレゼンボードの作成技術を生かして、新聞折り込み用のチラシをデザインした。さらに、多摩区の店舗を応援する多摩ファンラリーへの参加を呼びかけ、「生田の商店街」と題したパンフレットを編集デザインした。

一連の活動は、田口諒君がリーダーとなり、建築学科及び建築・都市学専攻の学生 7 名と一緒に取り組んだ活動であり、商店会の役員や川崎市議会議員らと打ち合わせは田口君が担当した。

